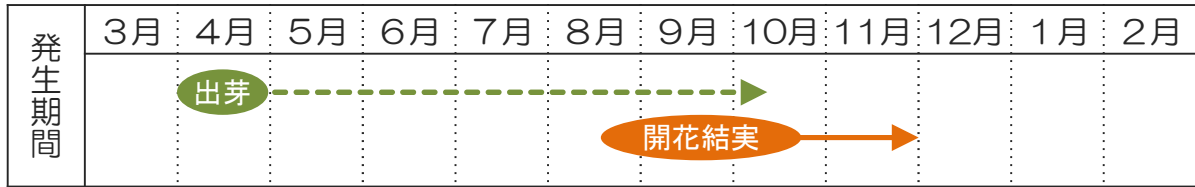


アレチウリ

ウリ科, 一年生



北アメリカ原産で、河川敷や法面など至るところで繁茂している。大豆ほ場では、大豆に絡みついて群落を覆い尽くすので、全国的に問題となっている。なお、特定外来生物に指定されており、生きたままの移動等が原則禁止されている。



形態的特徴	ウリ科雑草で、幼植物はキュウリやカボチャに似ている。茎は蔓となり、巻きひげで大豆に絡みつきながら生長し、大きな個体は10m以上になる。夏期以降、花や棘の密生した果実が白っぽく目立つ。
生態的特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・出芽期間は4～10月と長く、出芽深度も大きい。 ・種子は、大豆ほ場では1株から数百個生産され(ほ場外では数万個との報告がある)、河川や水路などの水系で拡散するとされる。
化学的防除法	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌処理剤:フルミオWDGやダイロンゾルの効果が比較的高い。 ・大豆バサグラン液剤(全面):処理後多照条件において、3～4葉で効果が高い。低日照時は効果が期待できない。 ・アタックショット乳剤:3～5葉程度までで枯死～生育抑制効果がある。葉齢が小さいほど効果が高い。 ・畦間・株間処理:発生量が多い場合は有効であるが、散布時に散布高を越える個体には効果が劣るので事前に手取りする。
耕種的防除法	<ul style="list-style-type: none"> ・晩播により、出芽期間を短くする。 ・大豆の草高が条間を上回り、遮光により発生が減少するまで、徹底的に手取りする。
参考	普及技術「大豆作における難防除雑草アレチウリの対策」(普及に移す技術第90号)